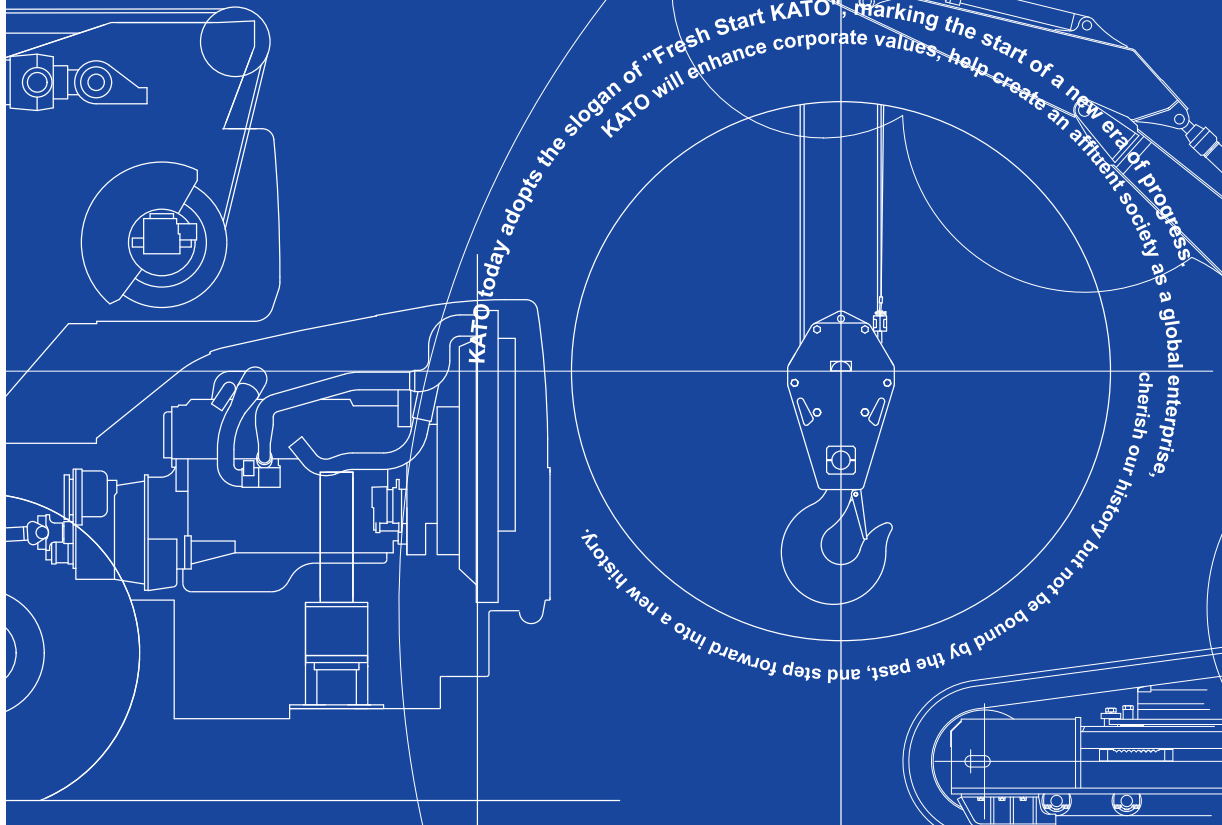


# KATO

"Today's dialogue leads to tomorrow's technology"



[www.kato-works.co.jp](http://www.kato-works.co.jp)

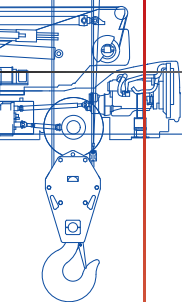
## KATO Report

第111期中間報告書

2009/4/1~2009/9/30

株式会社 加藤製作所

証券コード 6390



# Innovations For The Future

未来に向けたあらゆる革新的な取り組み  
企業価値の向上を目指し  
世界的企業として豊かな社会作りに貢献します

## Contents

株主の皆様へ……………	2
連結決算の概要……………	3
トピックス……………	5
会社概要……………	6



平成21年12月

代表取締役社長

加藤 公康

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第111期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、第1四半期に引き続き、雇用状況の悪化や設備投資の減少など、依然として景気回復の兆しはみえず、極めて不透明な状況が続いております。

当社グループをとりまく事業環境も、中国における油圧ショベルの販売環境に明るさがみえますものの、その他の地域および国内におきましては、建設用クレーン・油圧ショベルともに需要は低迷し、予想を大きく下回る厳しい状況となっております。このような状況下、当社グループといたしましては、積極的な営業活動と新規顧客の開拓に注力する一方、工場の一時休業や役員報酬・管理職給与の一部カット等種々コスト削減を徹底継続してまいりました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間の業績は前年に比べ大きく落込む結果となり、売上高は荷役機械事業として、87億5千3百万円（前年同四半期比40.9%）、建設機械事業は、88億3百万円（前年同四半期比91.5%）となりました。路面清掃車等のその他の事業につきましては、2億5千8百万円（前年同四半期比97.6%）となりました。その結果、総売上高は178億1千4百万円（前年同四半期比57.0%）となりました。

利益面につきましては、販売価格の維持と、経費削減に努めましたが、販売環境の悪化は改善されず、売上高の落込みに伴い、営業損失7億7百万円、経常損失7億3千9百万円、四半期純損失6億4千2百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

[単位:百万円]

科 目	2008年度 (前 期 末) 2009年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2009年9月30日現在	科 目	2008年度 (前 期 末) 2009年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2009年9月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>53,377</b>	<b>46,717</b>	<b>流動負債</b>	<b>36,115</b>	<b>27,916</b>
現金及び預金	10,248	9,282	支払手形	15,181	7,630
受取手形	10,203	8,362	買掛金	3,827	2,843
売掛金	8,969	8,845	短期借入金	10,150	10,705
商品及び製品	10,337	10,039	一年内返済予定の長期借入金	3,124	3,648
仕掛品	3,510	2,527	未払法人税等	55	31
原材料及び貯蔵品	6,884	5,809	割賦販売前受利息	1,336	1,262
繰延税金資産	1,103	1,136	賞与引当金	400	377
その他	2,215	794	製品保証引当金	285	232
貸倒引当金	△95	△80	その他	1,753	1,184
<b>固定資産</b>	<b>19,955</b>	<b>19,457</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,290</b>	<b>9,341</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,652</b>	<b>8,036</b>	長期借入金	5,813	7,942
建物及び構築物(純額)	3,148	4,066	退職給付引当金	894	812
機械装置及び運搬具(純額)	914	1,086	役員退職慰労引当金	562	571
土地	2,548	2,548	その他	19	15
建設仮勘定	772	110	<b>負債合計</b>	<b>43,405</b>	<b>37,257</b>
その他(純額)	267	224	<b>純資産の部</b>		
<b>無形固定資産</b>	<b>159</b>	<b>154</b>	<b>株主資本</b>	<b>29,907</b>	<b>29,000</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>12,143</b>	<b>11,266</b>	資本金	2,935	2,935
投資有価証券	640	632	資本剰余金	7,109	7,109
長期受取手形	8,951	8,413	利益剰余金	19,885	18,979
信託受益権	923	—	自己株式	△24	△24
破産更生債権等	2,649	2,649	評価・換算差額等	20	△82
繰延税金資産	551	507	その他有価証券評価差額金	119	115
その他	1,097	1,728	為替換算調整勘定	△99	△198
貸倒引当金	△2,670	△2,665	<b>純資産合計</b>	<b>29,927</b>	<b>28,917</b>
<b>資産合計</b>	<b>73,333</b>	<b>66,175</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>73,333</b>	<b>66,175</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日～ 2008年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日
売 上 高	31,280	17,814
売 上 原 価	26,106	16,200
売 上 総 利 益	5,173	1,614
販売費及び一般管理費	2,989	2,322
営業利益又は営業損失(△)	2,184	△707
営業外収益	354	444
営業外費用	175	477
経常利益又は経常損失(△)	2,364	△739
特 別 利 益	34	140
特 別 損 失	5	8
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,392	△607
法人税、住民税及び事業税	1,002	20
法人税等調整額	178	13
少数株主損失(△)	△6	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,217	△642

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日～ 2008年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,170	△2,439
投資活動による キャッシュ・フロー	△944	△1,427
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,339	2,944
現金及び現金同等物に 係る換算差額	51	△43
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△3,402	△965
現金及び現金同等物の 期首残高	13,862	10,248
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,459	9,282

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 《MR-130R (M) に“X型”アウトリガタイプを新発売》

昨年9月に発売しました13トン吊りラフター「MR-130Rプレミアム」ならびに4.9トン吊りラフター「MR-130RMプレミアム」のシリーズにクレーン本体を支えるアウトリガの“X型”タイプが追加され、2009年8月に全国発売しました。

従来から定評をいただいております“H型”アウトリガに“X型”が加わることによりあらゆる現場に対応でき、作業効率が一段とアップしました。アウトリガの操作は、運転席からはもちろんのこと、車外からも簡単に行えます。

走行時、ブームを下向きに格納するため左側の視界がよく、また死角をなくすために左前方や後方を確認できるカメラを搭載できるよう安全への配慮も拡充しております。

当社13トン吊りラフテレーンクレーンはコンパクトでパワーのある機械としてお客様の信頼を得、建築現場や土木作業場など幅広いエリアで活躍しています。



## 《環境対応型 高品位油圧ショベルHD823MRVを新発売》

REGZAMシリーズ第3弾として狭い現場での作業を楽々こなす、後方小旋回型油圧ショベルHD823MRVを2009年7月に全国発売しました。

曲線とシルバーメタルが調和した斬新なデザイン、環境にやさしいクリーンなエンジンの採用、極めて静かな作業音に加え、独自のコンピュータシステムにより、より少ない燃料でダイナミックな仕事ができますので、環境性能だけでなく、経済性にも優れています。

定評のある抜群の使い易さに加え、後方確認カメラと専用モニターを標準装備しており、安全性にも配慮した油圧ショベルHD823MRVは、全国のあらゆる現場で活躍しています。



## ■ 会社の概要 (2009年9月30日現在)

創 業	明治28年
会 社 設 立	昭和10年 1月
株 式	発行可能株式総数 234,000,000株 発行済株式総数 58,717,936株
資 本 金	2,935,896,800円
従 業 員 数	622名 (連結 709名)
主 要 製 品	●荷役機械

ラフテレーンクレーン (ラフター®)  
 オールテレーンクレーン (オルター®)  
 〈全油圧式〉トラッククレーン  
 積載型クレーン (キャブバック®)  
 〈全油圧式〉クローラクレーン

## ●建設機械

〈全油圧式〉ショベル  
 アースドリル (シティドリル®)  
 全回転式ボーリングマシン

## ●その他

〈真空吸込式〉高速路面清掃車  
 〈超真空式〉万能吸引車 (マルチバック®)  
 空港用除雪車 (スノースーパー)

## ■ 役員 (2009年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	加 藤 正 雄
代 表 取 締 役 社 長	加 藤 正 公
取 締 役 常 務 執 行 役 員	横 手 公 靖
取 締 役 執 行 役 員	田 籠 洽 隆
取 締 役 執 行 役 員	渡 辺 隆 和
取 締 役 執 行 役 員	工 藤 和 史
執 行 役 員	米 村 史 博
執 行 役 員	柳 多 々 良 道 義
執 行 役 員	石 丸 啓 一
執 行 役 員	高 橋 川 正 秋
執 行 役 員	尾 城 賢 博
常 勤 監 査 役	向 井 賢 一
常 勤 監 査 役	為 谷 進
監 査 役	林 浦 功
監 査 役	浦 田 隆

(注) 監査役林 功および監査役浦田 隆の両氏は、社外監査役であります。

## ■ 主要工場



茨城工場 (茨城県猿島郡五霞町)



群馬工場 (群馬県太田市)

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
剰余金の配当基準日 毎年3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）  
定時株主総会 毎年6月  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

公告方法 電子公告  
当社のホームページ（<http://www.kato-works.co.jp/>）に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむをえない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## ■ホームページのご案内

当社HPでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<http://www.kato-works.co.jp/>

